

## 御嶽山噴火に伴う木曽川上流域水質保全対策検討会

### 書面開催での結果概要

#### (議事内容)

1. 牧尾ダム汚濁防止フェンス撤去の報告
  - ・ 利水放流設備の取水口前面に設置していた汚濁防止フェンスは、噴火後6年が経過して、堆砂により大半が埋没しており、利水放流施設に支障が生じないよう措置したことを報告した。
  
2. 牧尾ダム汚濁防止フェンスの効果の報告
  - ・ 汚濁防止フェンス設置直後（平成26年）の試験放流結果により、汚濁防止フェンスによる下流河川への影響を軽減する効果があったことが確認された。
  - ・ 貯水池内の高濁度水の層の厚さを測定した結果、噴火から6年が経過し、約10分の1程度に減少していることが確認された。
  - ・ 汚濁防止フェンス撤去後の点検放流による下流への影響評価が未了のため、来年度に予定する点検放流において、汚濁防止フェンス撤去後の点検放流による水質への影響を確認する。
  
3. 今後の検討会の運営について
  - ・ 次回（第8回）の検討会は、牧尾ダムの汚濁防止フェンス撤去後の点検放流による水質への影響確認を行った結果を報告する。
  - ・ 検討会の存続の要否について、事務局にて関係機関の意向を確認し、次回検討会までに整理する。

以上